

“ちいさな企業” 発展会議（山形県天童市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成27年3月17日（火）14：00～16：00
- ・ 場所：山形県天童市（天童市総合福祉センター）
- ・ 中小企業・小規模事業者、支援機関、地元自治体の取組を御紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主な御意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者＞

- おもてなしの中核を担う人材の不足に対して、活用できる助成金がないか、本日いただいた資料をもとに考えたい。
- これまで通りの製造・販売を続けていくだけでは厳しいと考えており、例えば土日にも複数の事業者が大きな会場に集まって、販売を行うことなどできないか考えている。
- 人材育成の環境整備について。技術が日々進歩していく中で、事業者が個々に勉強しているのが現在の状況。勉強会などプラットフォームを作っていただきたい。
- 新規オープンする店を顧客として取り込むべく、青年会議所のネットワークなどを通じて、情報を逃さないようにしている。
- 農商工連携の認定を受けて、山形大学の協力を得て機械を導入して商品開発をしたが、機械には補助金が使えなかった。もっと補助金の使い勝手を良くしていただきたい。
- 以前、伝統的工芸品産地活性化補助金を受けたことがある。手続きなど大変だったが、その後のきっかけとなった。是非また補助金を活用して、新商品の開発や、販路開拓を行いたいと考えている。
- 地元の高校や大学の授業の一環として、自社製品を使ったデザインや商品開発

の取組を行っている。自社の認知度を上げるとともに、社員の自発的な取組を促すことが目的。

- 専門家派遣や助成金のどれが自社にマッチしているか分からないので、商工会議所やコーディネーターにコンシェルジュとなってもらえたら。
- 補助金の申請は大変。もう少し簡素化していただけたらと思う。
- 子育て中の母親4人で現在仕事を行っている。来る時間も帰る時間も、バラバラ。中抜けもOK。午後から授業参観に行く人も。そうした環境を作って上げることが大事だと思い、実践している。
- 補助金について、もう少し使いやすく、分かりやすくしていただければ助かる。

<支援機関・自治体>

- 補助金については、難しく、苦労している。また、毎年予算名が変わり、うろうろしてしまう。変えないようにお願いしたい。
- 創業と後継者問題に関心を持っている。後継者について、すでに決まっているというケースは全体の30%~40%程度。残りの決まっていない人々に対しては、支援が必要。
- 事業承継には、常に先代の考え方と後継者の考え方との相違という問題がつきまとう。金融機関が専門的にその業種に精通しているかと言われれば、そうではなく、難しい。事業承継の専門家の派遣など検討していただけたら。



以上